

一般的事項	
面積 :約43.83万平方キロ(日本の約1.2倍)	出所:外務省
人口 :約3,812万人(2018年)	出所:IMF
首都 :バグダッド(人口約700万~800万人)	
民族 :アラブ人(シーア派約6割、スンニ派約2割)、クルド人(約2割、多くはスンニ派)、トルクメン人、アッシリア人等	
言語 :アラビア語、クルド語(ともに公用語)、他	
宗教 :イスラム教(スンニ派、シーア派)、キリスト教他	出所:外務省

基礎的経済指標	
主要産業 :石油	
GDP(名目) :2,260.7億ドル(2018年)	出所:IMF
1人当たりGDP(名目) :5,930ドル(2018年)	出所:IMF
経済成長率(実質) :0.6%(2018年)	出所:IMF
インフレ率 :0.4%(2018年)	出所:IMF
貿易総額 :輸出約903億ドル/輸入約355億ドル(2018年)	出所:IMF
主要貿易品目 :原油	
対外債務残高 :約734億ドル(2017年末推定)	出所:CIA
主要貿易相手国 :(2017年)	出所:CIA
輸出:インド、中国、米国、韓国、ギリシャ	
輸入:トルコ、中国、韓国、ロシア	
通貨 :イラク・ディナール(ID)	
為替レート :1ドル=1,182.75 ID(2018年期中平均)	出所:IMF

政治体制	
政体 :共和制	
元首(大統領) :バルハム・サレハ(Barham Salih)	
首相 :アデル・アブドルマフディ(Adil Abd Al-Mahdi)	
議会 :一院制。定員329議席、任期4年	
政府(主要閣僚) (2018年12月現在)	
外相:ムハマンド・アリー・アル・ハキーム(Mohamed Ali Alhakiim)	
建設・住宅公共事業相:バンギン・レカニ(Bengen Rehani)	
石油相:サミール・アル・ガドバン(Thamer al-Ghadhban)	
財務相:ファード・フセイン(Fouad Hussein)	
出所:CIA、外務省、ジェトロ「ビジネス短信」	

政治動向	
(1)2004年6月28日 統治権限を連合暫定施政当局から暫定政府に移譲。2005年1月国民議会選挙実施、同年12月憲法に基づく国民議会選挙実施。2006年5月20日新政府発足。2010年3月国民議会選挙実施、同年11月タラバーニー大統領、ヌジャイフィ国民議会議長選出。同年12月20日第2次マリーキー政権発足。2014年4月国民議会選挙実施、同年7月ジュブリー-国民議会議長、マアスム大統領選出。同年9月8日アバーディー政権発足。2018年5月国民議会選挙実施。	
(2)2012年12月、駐留イラク米軍の全部隊が撤収。2014年6月以降、イラク北部、西部の多くの都市がISILを始めとする武装勢力に占拠された。2015年以降、米国主導の有志連合の支援を受けたイラク軍がISIL 掃討作戦を進め、2017年12月、イラク全土のISILからの解放宣言がなされた。	
(3)イラク国民議会が2019年6月24日、空席のままとなっていた4つの関係ポストのうち、3つのポストが議決された。	

イラク共和国 (Republic of Iraq) 概況	
内務相(シーア派ポスト): ヤーシン・アル＝ヤシリー(Yassin al-Yassiri)	
防衛相(スンニ派ポスト): ナジャフ・アル＝シャマリ(Najah al-Shammari)	
法務相(クルド人ポスト): ファルーク・アミン・オスマン(Farouq Amin Othman)	
(4)アブドルマフディ政権が発足した2018年10月25日から、約8カ月を経ての選出となった。残る1つの教育相ポストは女性候補が諮られたものの、議決にはいならず、近く再投票が図られる見通しとなっている。	
イラクでは各宗派・民族ごとにポストが別々に割り当てられているが、シーア派内で「ビナー(建設)ブロック」と「イスラールハ(改革)ブロック」、クルド人でもクルディスタン民主党(KDP)とクルディスタン愛国同盟(PUK)などで派閥間の利害が対立。それぞれが候補を1本化できなかったことが、遅れの主な要因となった。	出所:IMF、ジェトロ「ビジネス短信」

経済動向	
(1)豊富な石油資源を有し(世界第5位の確認石油埋蔵量)、国家歳入の8割強を石油収入で賄う。イラク戦争後の治安回復などの遅れが影響し、基礎的インフラの整備不足が顕著。経済活動を持続的に発展させるためにも、電力、水、運輸等の基礎インフラの整備が急務。	
(2)クウェートで2018年3月開催されたイラク復興をテーマとした国際会議に76カ国・地域の政府機関関係者、51の開発基金・金融機関、107のNGOなど支援機関、1,850の民間企業・団体が参加した。本会議を通じて、各国から合計300億ドルの支援・投資が約束されたことを、会議最終日にイラク政府は発表した。	出所:IMF、ジェトロ「ビジネス短信」

イラクの主要経済指標							
	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	
*実質GDP成長率	%	0.7	2.5	13.6	△1.7	0.6	
*名目GDP	億ドル	2,346.5	1,772.2	1,705.2	1,935.2	2,260.7	
*1人当たりGDP(名目)	ドル	6,704	5,047	4,714	5,211	5,930	
*消費者物価上昇率	%	2.2	1.4	0.5	0.1	0.4	
***原油生産指数	2010=100	126.3	132.0	148.3	190.2	192.5	
*経常収支	億ドル	61	△116	△134	40	111	
****貿易収支(注)	億ドル	393	152	159	299	548	
****輸出	億ドル	819	515	464	644	903	
****輸入	億ドル	426	363	305	345	355	
***金融収支	億ドル	△51	△163	△28	63	223	
外貨準備高(金を除く)	億ドル	629	509	420	456	606	
為替レート(期中平均)	ID/ドル	1,166.00	1,167.33	1,182.00	1,184.00	1,182.75	
**原油産出量	1,000bbl/日	3,239	3,986	4,423	4,533	4,614	
**石油精製能力	1,000bb/日	791	763	779	779	859	
**石油産出量	100万トン	158.8	195.6	217.6	222.2	226.1	
**石油精製量	1,000bbl/日	487	409	440	527	596	
**原油確認埋蔵量	億bbl	1,431	1,425	1,488	1,472	1,472	
**天然ガス産出量	億立方メートル	75	73	99	101	130	
**天然ガス産出量(石油換算)	100万トン	6.5	6.3	8.5	8.7	11.2	
**天然ガス埋蔵量	兆立方メートル	3.7	3.7	3.5	3.6	3.6	
出所:IMF(IFS)、*IMF(WEO)、**BP、***世銀、****OECD Data、*****IMF(DOT)							
(注)貿易収支は「輸出-輸入」でジェトロ算出							

二国間関係	
日本の貿易額 : 輸出 輸入	
2016年	375.6億円 1,180.4億円
2017年	319.7億円 1,132.7億円
2018年	396.9億円 1,447.8億円
対イラク貿易の主要品目	輸入:石油等 輸出:機械類等
出所:財務省貿易統計	
政治関係 :	
1960年	日本側公使館(1939年バグダッド・開館)、在京イラク公使館(1955年12月設立)ともに大使館に格上げ
1991年9月	在イラク日本大使館引き揚げ(1991年1月、クウェート侵攻・併合に抗議)
2004年6月	暫定政府発足を受け、日本は大使館業務を再開。
2017年1月	領事事務所(エルビル)開設
二国間条約 :	
貿易協定、司法共助取極、技術協力協定、文化協定、航空協定、投資協定	
要人往来 :	(往)
2015年2月	藪浦外務大臣政務官
2015年3月	藪浦外務大臣政務官
2015年10月	小池・日イラク友好議連会長
2017年1月	藪浦外務副大臣
2017年8月	藪浦総理補佐官
2017年11月	佐藤外務副大臣
2018年11月	藪浦総理補佐官
(来)	
2015年1月	ガドバーン・イラク首相顧問会議議長
2015年3月	ジュブリー-環境相、アンサーリー-地方自治・住宅公共事業相、ハイラツラー-外務次官(第5回日イラク・ハイレベル協議)
2015年11月	ジャアファリー-外相
2016年2月	アブドルマフディ石油相
2018年4月	アル・アバーディー首相
出所:外務省	
日系企業進出状況 : n.a. (2017年10月)	出所:外務省
在留邦人数 : n.a. (2017年10月)	出所:外務省
在日当該国人数 : 140人(2018年6月末)	出所:法務省
外交・国防	
(1)内政不干渉の原則に基づき、隣国との善隣外交を推進。さらに、国際社会との友好関係構築。	
(2)軍事力(2015年)	出所:世銀
予算:約623億ドル、兵役:18~40歳までの志願制、兵力:約21万人	
【参考資料】	
外務省 国・地域基礎データ(2018年12月26日付)	
外務省 海外在留邦人調査統計(2018年要約版)	
法務省 在留外国人統計(2018年6月末)	
財務省 貿易統計	
IMF International Financial Statistics(IFS)(2019年7月)	
IMF World Economic Outlook Database(WEO)(2019年4月号)	
BP Statistical Review of World Energy(2019年6月号)	
世銀 World Development Indicators(2019年7月)	
OECD:IEA World Energy Statistics and Balance(2019年7月)	
IMF Data:Exports and Imports by Areas and Countries(DOT)(2019年7月)	